

6年生を送る会 校長先生の話（3月2日）

6年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。最上級生として、篠原小をより良い学校にしようと活動した1年が、もうすぐ終わります。卒業前にこうして全校が集まったこと、感謝の気持ちを伝えてもらったこと、本当にうれしいですね。3学期になって、少しずつ卒業を意識してきたと思いますが、今日が1番、「ああ、本当に卒業するんだな。」という実感が湧いたのではないですか。

今日のこの会は、5年生が中心になって、全校の皆さんの力で、作り上げてくれました。「6年生に感謝の気持ちを伝えたい。」、そんな思いのいっぱい詰まった会でした。

4年生は、「赤い屋根の家」の合唱でした。歌詞をととても大事に歌っていましたね。美しい歌声でした。

3年生は、「6年生のすごいところインタビュー」でした。優しい所や格好良い所、校長先生もそう思います。「心パレット」の合唱を聞いて、心がはずみました。

2年生は、「エール」のプレゼントでした。動きがそろっていて、力強かったです。「みんなのヒーロー6年生！」本当にその通りですね。

1年生は、「6年生ありがとう」の歌のプレゼントでした。1年生は6年生のことが大好きなんだなと思いました。

そして、全校で歌った校歌。皆さんの心が1つになった、美しい歌声でした。温かな空気が、体育館中に広がりました。

6年生からの「お礼の歌とメッセージ」。やっぱりさすが6年生。心が1つになった、美しいハーモニーでした。

5年生の皆さん、今日のこの会を最高の会にするために、20分休みや昼休みに、何度も集まって、計画や準備をしたと聞いてきます。そして、今日も、自信をもって進行をしてくれました。5年生の皆さん、よく頑張りましたね。頼もしいリーダーです。

6年生のみなさん、卒業まで残りわずかです。そして、1年生から5年生のみなさんも、自分の学年がもうすぐ終わります。

クラスの仲間と過ごす残りの一日一日を、思いやりの気持ちをもって、ぜひ大切に過ごしてください。

